

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 多機能型事業所シンフォニー

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		
	2	職員の配置数は適切である	○	利用者に合わせて体制を整えています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	間接照明壁天井等に目から情報伝達できるようにしています。天井ネットを使った飾りつけをしています。	天井の高さや仕切りの少ない開放的な空間づくりを心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	チェックリストも作成し毎日清掃しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	話し合いを重視しています。	だれでも意見を言える雰囲気を大事にしています。時間もとっています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	保護者説明会やランチ会を実施し取り入れています。	連絡帳やラインなどを活用し、送迎時に保護者と会話をしたりコミュニケーションを大切にしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	ホームページで公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	社外の総合アドバイザーに助言をお願いしています。	正式な第三者評価は今後の検討課題です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	月1回の施設内研修を実施しています。	施設外の研修参加も随時可能です。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	子供と保護者のニーズや状況などを皆で共有し計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	聞き取り時のシートを活用しています。	聞き取り情報更新して検討しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	スタッフ全員で立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	話し合いをし、楽しめる工夫をしています。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	子供の状況に合わせて作成しています。	現在一人のため集団活動はできていないが、状況に応じての工夫はできています。	

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前回の振り返りも含め確認しています。	積み重ねでより良い支援になるようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		時間が足りない時は翌日に持ち越して行っています。	記録も含め休んでいた職員も共有できるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録と話し合いが結びついて習慣化しています。	話し合いとセットで振り返りに活かしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		定期的に情報交換を行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者を通じ連携しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修等に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今後の検討課題です。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後の検討課題です。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日頃からコミュニケーションに努めています。	連絡帳、電話、Lineと様々な手段でコミュニケーションに努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて最適な職員が対応しています。	多様な職員がいるのでいろいろな視点から対応できます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者説明会やランチ会を実施し、連携支援につなげています。	行事・イベントも活用し回数も増やします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応するように心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		連絡帳、お知らせインスタで発信しています。	事前情報は紙面で。活動の様子等は写真やインスタを活用しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			となりの生活介護で販売会等があり、地域との交流があります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			保護者には保護者説明会等で周知に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に1回以上実施しています	より実践的になるよう工夫しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用開始時に確認しています。	ラインを活用し発作時に動画をとり発作の様子を保護者、他事業所と共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギー以外でも指示書や、保護者からの手順書はいただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有しています。	振り返りでも検討して事例集を残しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待委員会の設置、年1回行っている。定期的に話し合いをしています。	定期的に研修で取り上げています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		法人間で研修を実施しています。	必要ならばきちんと手続きを踏んで行います。まずは代替手段を考えます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。